

たあとのほいくえん

【令和5年度 自己評価への取り組みと状況報告】
 今年度1年を振り返り、あなた自身の評価を行ってください。
 1→5(悪い→良い)の5段階評価。また、あなた自身が下記項目
 以外で、「良いと思うところ」「これから改善しようと思うところ」も
 記載してください。(期限:3月30日)

保育の計画性

たあとのほいくえんの保育理念・方針を理解し、達成できるように計画を立てている。	3.1
子ども一人ひとりの発達過程や興味を把握し、計画を立てている。(月案・個人計画)	3.3
保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている。	3.5
評価結果をもとに保育の改善に努めている。	3.5
楽しい雰囲気の中で、安定してあそべる環境構成を考えている。	4.1
配慮の必要な子どもには、その子に応じた計画を立てている。	3.8
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの育ちの違いを考えるように心掛けた。・子どもの興味に合った保育を心がけた。 ・担任の先生方がしっかりと計画を立て伝えてくれています。 ・計画を把握できるよう、ノートをチェックしたり、分からない事は先生方に教えていただいた。 ・排泄面、着脱面など個々に応じて計画を立て関わった。 ・少人数クラスということもあり、伸び伸びと活動を楽しむことが出来た。 ・笑顔で明るい雰囲気保育に取り組む。 ・担任の先生の計画や案がスムーズに進むよう、確認しながら保育に入っているつもりでいます。 ・子どもが成長に合わせて興味を持つものに遊び方を考えるように計画、少しクラスに入る時考えた。 ・担任の先生の方針に添った保育ができるよう心がけている。 ・一人ひとりに合った保育を心がけて実行している。 ・それぞれの特性や興味を把握できるよう注意深く観察し深く関わられるようにしている。 ・ひとりひとりの発達にあわせて保育の計画を立てている担任の先生はすばらしいと思います。
改善点(策)	<ul style="list-style-type: none"> ・担任やフォローして下さる先生方の思いをきいていきたい。 ・子どもが自立出来るような声かけをやり方を工夫する。 ・安定して遊べる環境構成では、自分自身のバリエーションが少ないので、増やせるように努めていきたい。 ・活動内容に偏りがある時があった。配慮の必要な子どもと全体の子どもが楽しめるよう同じ活動でも遊び方のパターンを増やしていく。 ・自分の理想を押しつけず、ありのままの子どもの姿や成長を楽しめるような計画を立てていきたい。 ・よりくわしく話を聞いたり、コミュニケーションを大切にしたいと思います。 ・個人の計画表に目を通すようにする。・月齢差も考慮した活動内容を取り入れられるようにする。 ・案を自身でたてる事は無いがしっかりと方針を確認するよう努める ・園の保育方針を理解し、意識を高めて保育に取り組んでいく。 ・特に午後の保育について、クラスの中に入る時、出る時の職員同士の声掛けや意識の共有ができていない時があるので改善していきたい。 ・壁に子どもたちの好きなキャラクターを貼るなど工夫したが、季節ごとに張り替えたらよかった。 ・補助に入る保育士もできるだけ担任の先生の指導案に沿った保育ができるよう伝達ができるといいと思います。

子どもとの触れ合い・対応

一人ひとりの人権を大切に関わっている。	4.4
一人ひとりの思いを受け止め、思いをできるだけ実現してあげようとしている。	4.1
一人ひとりの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている。	3.6
一人ひとりの子どもの話を同じ目線で聞き、丁寧に関わっている。	4.2
子どもの手本となる言葉使いや挨拶が出来ている。	3.6
子どもの名前は呼びすてにしていない。	4.5
すべての子どもと公平に関わっている。	4.5
オムツ交換・お着替え時は、優しく声掛けし、スキンシップをとっている。	4.4
必要以上に「禁止・命令・行動を急かす・自信を失わせる言葉や態度をしていないか。	3.8
子どもに対する適切な言葉遣いができている。	3.6

<p>良いところ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの思いに寄り添えるよう心掛けた。 ・出来る範囲で一人ひとりの思いを受け止める意識でいました。 ・スキンシップを沢山とった。・どの子どもとも大切に思う。 ・子ども達の出来る所、出来るようになった所を子ども達にも声をかけ、喜びを共有した。 ・子どもとの会話を楽しみ、言葉を引き出せるよう関わった。 ・一人ひとり寄り添えるよう共感し受け止めようとした。 ・今年は例年に比べて比較的に穏やかに子どもと関わることが出来た。 ・子どもにとっての当たり前や常識に目を向けた保育を意識した。・対応や言葉かけには常に気をつけている。 ・ひとりひとりの子どもとのふれあいを大切に、言葉づかいには気をつけているつもりです。 ・朝は、できるかぎり子ども達みんなに「おはよう」と声をかけるように心がけている。 ・自分ではしているつもりでできていない(していない)。その逆でしていないつもりでできている(している)。 ・子ども同士のもめ事が起きた際にはその場が落ち着くよう状況を整えたり相方の意見や気持ちを丁寧に聞くよう心がけている。 ・ひとりひとりの思いを受けながらも今やるべき行動を理解して自ら行動できるように関わっていると思う。 ・子どもと目を合わせて対話し、笑顔で触れ合う事ができた。 ・感情的にならず、子どもの気持ちを十分に受け止め一人ひとりに向き合った。
<p>改善点(策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・思いをききながらも大人の意思や全体の流れに合わせてよう導いてしまう所。・丁寧に関わる ・一人ひとりの目標と課題を認識出来ていなかった事もあったので、ノートをチェックしたり、担任の先生とお話をしたり、情報を共有できるように心がける。 ・オムツ交換やお着替えで必要以上に手を出さず見守る。・おかしな言葉使いに多々なってしまう。 ・禁止、急かすなどの声かけをすることがあった。明るく前向きな声かけで促していけるようにする。 ・クラス全体をまとめなければならないという焦りから、行動や発達がゆっくりな子どもに寄り添えず急かしてしまう時があった。大人の都合で子どもを動かす保育にならないよう努めていく。 ・時間に追われ焦ることもあるので、見通しをもって活動を進め子どもとしっかり関わられるようにしたい。 ・短時間のかかわりになるので、もっと工夫が必要だと常々思っています。もっと関係性が築ければと思います。実際はまだまだ手さぐりではあります。 ・つい、行動を急がすような声かけをしてしまう時があるので、どのような声かけをすれば、子ども達が気持ちよく行動できるか考えていきたい。 ・すべての事柄が地球儀の中核から見ている自分があります。そのため声でなくなる事が多いです。こちらから質問などの発信が必要かもしれません。 ・できている「つもり」にならないよう自身の行動を振り返りながら保育をしていきたい。 ・クラス担任の子どもへの対応について詳しく把握できていない時があるので自分から積極的に確認するようにしたい。危険な行為などを止める時など急ぐあまり動きが早くなりすぎて乱暴に見えたりするのは気をつけたいと思う。 ・引き続きどんな時も子どもの視線を意識してコミュニケーションをとるようにする。

保護者への対応

<p>園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている。</p>	<p>3.7</p>
<p>子育てパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。</p>	<p>3.6</p>
<p>送迎時に子どもの姿(ケガ含む)を必ず伝えている。</p>	<p>4</p>
<p>丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている。</p>	<p>4.2</p>
<p>親しくなったからといって、ため口や友達同士のような話し方、上から目線で会話をしていないか。</p>	<p>4.5</p>
<p>すべての保護者と公平に関わっている。</p>	<p>4.6</p>
<p>保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。</p>	<p>4.2</p>
<p>良いところ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意見と園の思い、歩み寄れるよう考えた。・お帳面で日中の様子を伝えることができる。 ・泣いて登園してくる子には、抱っこで迎えたり、沢山声をかけたり、保護者の方も安心出来る事を心がけた。 ・生活面、友だちとの関わりの様子などをこまめに伝えた。・明るい表情で対応したいと思っています。 ・保護者の思いや気になる点を会議で共有することができていた。 ・自分のクラスだけでなく、色々な保護者の方と送迎時に話すことが出来たので良かった。 ・お迎え時にわかる範囲でその日の出来事や今やっていた遊びなどを伝えるようにした。 ・言葉づかいや態度には常に気をつけている。・ママの悩みもおおらかな気持ちで見守る事が出来る。 ・あまり保護者の方とかかわる機会は少ないが、朝の受け入れの時は、元気に挨拶するように心がけている。 ・送迎時、「明るい雰囲気の中で挨拶をし、丁寧に関わることができた。 ・園での頑張っている姿や成長を感じた時のことなど特に前向きな話は積極的に伝え喜びを共有できている。 ・子ども同士のけんかやちょっとしたケガなどもきちんと保護者にお伝えしているように感じる。 ・保護者に対して尊敬の意を表しながら、親身になって困りごとなどの話しを聞き一緒に子どもについて何が良いか考えられた。

改善点(策)	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと情報(感染症等)の伝え方を工夫したい。 ・相談等話しやすい関係をつくる。 ・保護者の顔を覚えたい。 ・普段、家庭での悩みや相談などを自ら発信しない保護者にもお迎え時などにさり気なく聞くなどしていく。 ・保護者の立場になって、よりささいな体調の変化や周囲の体調変化の特徴を伝えていく。 ・送迎時間の関係でゆっくり話す機会が少ない時もあるので、お帳面へ書く内容も保護者へ伝わるような書き方を心掛ける。 ・担任の先生からも保護者の方の情報を得て、保護者の方とのコミュニケーションに役立てたい。 ・朝の受け入れ時だけなので、なかなかコミュニケーションとまではいきませんが、安心感をもって頂けるように対応したいと思います。 ・あまり保護者の方とゆっくり話せていないので機会があれば色々お伝えするようにしたい。 ・保護者の困り事や家庭での姿については話をすることが不足しているので、信頼してお話してもらえよう努めたい。 ・普段は保護者対応をしないパートの保育士も当日の行事などしっかり把握できるようにしたい。ノートはわかりやすく以前よりお伝えしやすい。保護者の思いに共感し、寄り添っていく。 ・保育者間での引き継ぎや、保護者とどのような話をしたのか等の伝達が薄く感じるがあったので、報連相をしっかりと出来るように日々のコミュニケーションが大切だと感じた。 ・保護者対応は苦手意識があります。フランクを心がける必要があります。 ・帰る時などの声かけなどもう少し園でのエピソードなど伝えたい。
--------	---

自然や社会との関わり(散歩・戸外あそび)

適度に園庭やお散歩に出掛けている。	4.2
生き物や植物を大切にしている。	4.4
近隣地域の人、来園者に明るく挨拶ができています。	4.5

良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれに応じた遊び方を工夫した。・子ども達とお花が咲いている喜びを分かち合えた。 ・植物の大切さを伝えた。・近隣地域の方々等、自ら明るく挨拶ができた。 ・天気の良い日は戸外に出かける。・天気の良い日は散歩や戸外遊びにたくさん出られた。 ・天気の良い日はなるべく戸外で身体を動かせるよう努めた。また、今年度は様々な生き物や植物と関わりを持つことができた。 ・出勤時や散歩などでは地域の方にあいさつしています。・近くに住んでいる事もあり挨拶は自然としやすい。 ・天候や風などが吹いた時に感じる感覚を言葉で伝えて、楽しんだり共感し合えた。 ・公園内の動植物の観察から感じられる季節のうつり変わりなど子ども達が気付くような言葉かけ等を行うようにしている。 ・戸外あそびを通して植物・生き物の名前を知れたり、自然の大切さを理解する。 ・コロナも落ち着いてお散歩や公園遊びなどが多くなっているのだと思うが午後のお出かけが少なく様子がよくわかっていません。 ・自分が子どもたちの手本となるよう、元氣よく挨拶をしていた。また、園内で生き物(虫など)を見つけた際に、外へ逃がすようにするなどして、命の大切さを伝えた。
-------	--

改善点(策)	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な物に興味を持ち、手を伸ばし触ろうとする子ども達に対し、触れると危険な物は、具体的に触れるとどうなるのかを伝えていきたい。 ・引き続き、挨拶などを続けていきたい。・栽培活動にあまり時間を作れなかった。 ・大型遊具など一般の方と被ることがあった。時間をずらすなどして遊具を占領してしまわないようにする。 ・ゆったりと丁寧に園庭の野菜を育てることができなかったと感じる。子どもとの水やりだけでなく、日頃のこまめな手入れを心がけたい。 ・遊びが一定になることも多かったので、レパートリーを増やせるように努める。 ・散歩時は安全面に気をつけながらも、子どもたちに季節感など話をするなどともっと余裕をもてると良いと思います。 ・満足いく遊びを行えるようにする。 ・花の名前について子ども達から問われても分からないことがあるので一緒に調べたり、自分でも知識を広げたりしていきたい。 ・保育園見学の人がいらしている時など親しみやすく園にとけこめやすい雰囲気だと思います。 ・無理に挨拶をさせようとせず、保育者が挨拶をする姿を見せることで、自発的に子どもたちが出来るようになると思うので、見守る事も大切だと思う。
--------	--

保育士としての能力(良識・適正)及び態度(姿勢)

園内・園外研修に積極的に参加している。	2.5
自らの保育を振り返り、第三者の意見を聞きにしている。	3.2
自らの保育を振り返り、第三者の意見を取り入れている。	3.2
自身の保育を振り返り評価反省を行い、次の保育に生かしている。	3.5
まだ、自分にできることはないか、協力できることはないか自ら声をかけている。	3.5
自己の体調を管理し、他職員に迷惑をかけないように努めた。	3.8
子どもの事、クラスの出来事、保護者からの苦情(相談)等、必要なことは、	4.1
施設長(管理者)や主任に「報告・連絡・相談」している。	4.1
園の消耗品や教材は節約して使っている。	3.9
職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていないか。	4.5

他の保育士の意見を尊重できている。	4.1
提出物を期限内に提出できている。	3.6
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・園内研等、話すばかりでなく周りの保育士の思いも聞こうとした。・先生同士連携がとれている。 ・自分にできることを積極的に努めていく。・プライベートには十分に配慮できたと感じる。 ・自身の保育に自信が持てない時、不安を感じた時は他の先生の意見も聞きより良い保育ができるように努めた。 ・日々、子ども達が楽しめるよう絵本や手遊びを考えた。・節約したり、提出物の期限は守っています。 ・保育を行う上でうまくいかないことや対応に迷っていることを自分だけの悩みにせず周囲に相談できた。 ・園外、園内研修を受けて他園の取り組み方や話を聞くことが出来て良かった。 ・自分が聞いたことは必ず伝えるようにしています。 ・子どもへの対応についてクラス担任の考えや計画を理解するよう努めている。 ・少しでも担任の先生がゆとりをもって子どもたちに接することができるよう今何をすれば良いかを考えて行動するようにした。 ・研修をしっかりと受けておられる先生方が多い ・わからないこと、困ったこと、悩むことがある場合は保育士の先生に相談・確認し、統一した保育が行えるように心がけている。協力できることはないかと思っている。 ・積極的に研修へ参加をすることで、他の保育者へも研修内容を共有できたので、日々の保育にも生かすことが出来て良かった。
改善点(策)	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修等、もう少し積極的に参加しようと思う。・引き続き声を掛け合って保育を行う。 ・嘔吐処理の際、指示を仰ぎながらしか行動できなかったため、処理方法を復習し、いつでもスムーズに対応できるように努める。 ・できることはないかもっと声かけしていきたい。 ・保育者間で報告・連絡・相談が出来ていなかったことがあった。こまめに情報共有をしていく。 ・提出物は就業時間内に作成し期限内に提出できるよう計画を立てていく。 ・なかなか研修等、参加できていないですが、本を読んだり、研修に参加したり、新しいことにチャレンジすることが必要だと思います。 ・製作の技法や遊びに関する研修があれば参加してみたいと思う。 ・研修の案内や回覧物などがよく見れていないので、意識して読む時間を作り、知識を深めていきたい。 ・保育の事をもう少し自立に向けて声かけをする。すぐ手が出る(手伝ってしまう)。 ・研修には参加できていないので今後参加できるものがあれば参加していきたい。 ・配慮の必要な子どもについてやその対応について知識が不足していると感じるので、書籍や動画等で学ぶようにしている。 ・パートの保育士も研修が受けられたりスキルアップができるといいと思う。 ・わからない事、疑問に思う事はしっかり聞きにいき、保育に生かせるようにする。 ・他の保育者の話を尊重しつつ、自分の思いを相手に分かりやすく伝えることが出来たらよかったと感じた。

安全面及び衛生面

給食及び間食を提供の際は、アレルギー食の配慮や工夫がされている。	4
施設設備や園庭、お散歩道中の危険箇所を把握し、安全点検を行っている。	4
常に危険を予知して保育に取り組んでいる。	4.2
危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制ができている。	3.6
保育室の換気、温度・湿度に配慮して保育している。	3.6
子どもの健康状態やケガを記録し、職員間で把握できている。	3.8
良いところ	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練は、実施後に振り返りを行い改善に努めた。・子どもの健康状態など保育者間で伝え合う。 ・間食の準備時、その子に合った大きさや固さなのか疑問に思った時は、担任の先生に声をかけ確認した。 ・子どもの急変に対し、対応の仕方を職員間で共有し、常に想定して過ごした。 ・給食時の安全には気をつけています。 ・室内の温度計をそれぞれの保育者が確認し、適切な温度調整や換気が行われていた。 ・公園などの遊具は、天気により火傷や滑ったりするので保育者が手で触り使用の有無を判断する。 ・全体を見わたせる位置につき危険がないか目を配った。 ・子どものケガなどは今できたものか前からあるものなのか担任に確認した。 ・緊急の場面にたつことはあまりないが、対応できるよう自分ができることはイメージトレーニングをしている。 ・健康状態やケガがあった場合、「報・連・相」を大切にしている。 ・病気やケガの際の対応や予後について理解できるよう看護師に都度詳しく聞くようにしている。 ・お散歩道中の危険箇所について、保育士間で声をかけ合う事ができた。 ・子どもたちの様子を見ながら、保育内容を変更したり臨機応変に対応できたのでよかった。 ・避難訓練など子どもたちにしっかり伝わりよくやられていると思う。

改善点(策)

- ・病気やケガの対応が保育士それぞれで違ったりするので共通認識の中適切に対応していきたい。
- ・保育室の換気と湿度については普段は意識していなかったので、気にかけて過ごしていく。
- ・緊急時に全員が落ち着いて行動できるように日頃から意識しておく。
- ・子ども同士の衝突や転倒を防止出来なかったことがあった。視野を広くし、子どもの動きを注意して見ていく。
- ・今年度はアレルギー食がなかったが、新年度は卵アレルギーの子どもがいたり、また新しくアレルギーが出る可能性もあるため気を引き締めて確認を行っていく。
- ・小さな危険も見のがすことがないように気を配っていきたいと思います。
- ・道路沿いを歩くことが多いので、自身も十分に気を配ると共に、子どもにも交通ルールや安全確認を丁寧に伝えていきたい。
- ・引き続き安全面には十分に配慮して保育に臨みたい。・アレルギーについてももう少し学べたらと思う。
- ・嘔吐時の子どもへの対応や後処理に不安があるので教わっておきたい。
- ・先生にお任せしていることはたくさんあるので、気になったことなどがあれば伝えて、改善できることがあれば改善していきたい。
- ・緊急時の対応をスムーズに行う事ができるよう、日々把握しておく。
- ・子どもがかかりやすい病気やアレルギーについての知識が不足していると感じるので学んでいく必要がある。
- ・ミルクの量や食器など貼り出してくださっているのがわかりやすく確認できて良いと思います。
- ・緊急時の対応は正職員に限らず、どの保育者も動けるように全職員に動きを把握してもらった方が良いと思う。

